

道を尊び
師を敬い
友を慈しむ

R5.04.03

1 目的

- （１）学年，学級をはなれ共通の趣味・関心を持つものが，その興味や関心を満足させ，同一目的に向かって自主的に活動することにより自己の成長を図る。
- （２）教師及び生徒相互の人間的な接触を基盤とした望ましい集団活動を通し，充実した学校生活を経験させる。
- （３）人格の調和的な発達を図り，健全な社会生活を営む上に必要な資質の基礎を養う。

2 部活動で育むめざす生徒像

- （１）さわやかなコミュニケーションができる生徒
- （２）自己や集団の課題改善に取り組み、目標に向かって粘り強く努力する生徒
- （３）環境や道具を大切にできる生徒
- （４）部活動以外の場でも集団に貢献できる生徒
- （５）自他の課題を解決するとともに、逆境に負けない心を育て、目標に向かって挑戦し続ける生徒

3 部活動顧問名簿

- | | |
|---------------------------|------------------|
| ①陸上部 | （飯嶋先生、山中先生） |
| ②野球部 | （大黒先生、松本先生） |
| ③ソフトテニス部 | （山田先生、安永先生、大道先生） |
| ④男子バスケットボール部 | （石井先生、岩崎先生） |
| ⑤女子バスケットボール部 | （木村先生、岩崎先生） |
| ⑥サッカー部 | （西川先生、大村先生） |
| ⑦卓球部 | （花島先生、石塚先生） |
| ⑧女子バレーボール部 | （原先生、山崎先生、大軒先生） |
| ⑨吹奏楽部 | （金澤先生、ゴメズ先生） |
| ⑩囲碁将棋部 | （日下先生、田中先生） |
| ⑪カルチャー部 | （芝田先生、大園先生） |
| ※⑫特設駅伝部 | |
| （飯嶋先生、松本先生、原先生、大村先生、山中先生、 | |

花島先生、石井先生、西川先生、岩崎先生、山崎先生、大道先生)

※特設駅伝部…全校生徒から選抜され、東葛駅伝や各種大会に向け、夏休みから冬にかけて期間限定で活動します。

()内の先生方は自身の部活動と並行して駅伝部の活動を行ってくださいますので、その他の先生方も是非サポート、ご協力の程よろしくお願いいたします。

⑬ 外部引率 (教頭先生、倉持先生、坂本先生)

4 活動場所 (雨天時)

- ❶ 雨天時の外部活の活動場所は、顧問が担任の場合、その教室内及び廊下もしくは、その他の教室を使用する場合、その教室の管理者の許可の元活動を行う事。人数が多すぎて、この範囲におさまらない場合は、両隣の部活動と相談して、活動場所の確保をする。ただし7時55分には教室などを完全に空けること。
- ❷ 格技場の空きスペース、体育館ステージなどは、顧問同士でお互いに相談して使用する。
- ❸ 歩行の妨げになるうえ、騒がしいので、1階廊下及び昇降口付近での活動はしない。
- ❹ 活動には極力顧問がつく。(生徒が右往左往するのを避けるため)。
- ❺ 練習など、顧問が不在のときは、お互いに協力しあって、事故の未然防止に努める。

5 活動時間について ～量から質への転換を！～

(1) 練習時間について

① <朝練習について>

【活動時間・・・7：10～7：50】

※7：00以降に登校する。6時台の登校は禁止とする。

※校舎の解錠は、7：00頃にする。

※8：05には着替えて教室に入り、読書の準備

※8：10には着席できるように終了させる。

部活動ガイドライン

※平日の活動は、朝もしくは放課後のどちらかとする

※1日の活動時間は、平日2時間程度

※水曜日の午後はノー部活動とする

② <放課後練習について>

・放課後の活動は、帰りの会終了後から最終下校時刻15分前まで。

・休日・・・完全下校時刻を守ること(顧問等監督者不在での活動はしない。)

※休日の遠征については事前に引率計画・課外活動届けを提出し、管理職の許可をとること。

・昼休みの部活動については準備、活動ともになし。

※昼休みなどに連絡などのため部員を集める場合には、日報を活

用して、必ず周知をはかる。

- ・行事の再登校は一般下校の2時間後を目安とする。

(2) 休養日の設定について

①【平日について】

- ・1週間のうち、原則平日1日を休養日とする。
(天候や体育館状況によって、同一日ではない朝・放課後を休養日としても可)
- ・活動時間は、2時間以内とする。

②【土日について】

- ・オフシーズンの土日には、いずれか1日を休養日とする。
- ・活動時間は、半日(3時間以内)とする。
- ・土日に大会・練習試合や遠征がある場合には、翌週の平日や土日に積極的に休養日を設ける。
- ・繁忙期については、1ヶ月あたり1日以上 of 休養日を設ける。

③【祝日について】

- ・原則、練習を行う場合は半日とする。

※職員会議・全体の会議等がある日は、その日を休養日とする。

6 延長練習について

- (1) 公式戦(小中体連主催大会及びそれに準ずるもの)については学校長の許可をえて放課後の活動を延長できる。その他の大会及び発表会については学校長に相談し、判断を仰ぐこと。
- (2) 大会及び発表会の2週間前より30分の延長ができる。
- (3) 時間延長については、完全下校が18時00分を過ぎない範囲で行っても良いこととする。ただし、ガイドラインの規定を超えない範囲での活動とする。
- (4) 保護者からの承諾を得る。(承諾書など)
※但し1年生の延長練習は2学期からとする。
- (5) 延長練習をする場合は、事前に日報で周知する。
- (6) 千教研時の部活動について

①基本的に活動はしない。千教研に参加してください。

ただし、直近の土日に公式戦がある場合は次のように活動してもよい。

- ・学校長の承認のもと、完全下校時刻から1時間程度(千教研の前)、または、千教研から帰校後1時間程度(千教研の後)の活動を認めます。

(例)

- ・千教研の前に活動する場合は、生徒に弁当を持参させ、日直の先生にお願いして、部活動終了後に昼食の時間を確保するなどの配慮をしてください。
- ・千教研の後に活動する場合は、帰校時間に合わせて生徒を再登校させて活動して活動してください。準備等で生徒を帰校時間より早く集合させる場合は、日直の先生にあらかじめお

願いしてください。

7 テスト期間の活動について

(1) テストごとに諸活動停止期間を定める。

- ①朝，放課後ともに，定期テストの5日前より活動停止。
- ②テスト期間中またはテスト後すぐの土，日祝に公式戦，発表会などのある場合は，学校長の承認のもと，平日は，朝または放課後のみ1時間程度の活動を認める。基本的には，新人戦，1年生大会がこれに該当する。土日は，どちらかの半日のみ活動を認める。

8 部費について

(1) 保護者の経済的な負担に、最大限の配慮をする。

- ・ウインドブレーカーやユニフォームなどを購入する場合は、必ず校長の決裁を仰ぐ。生徒会費とは別に、部独自で部費を集め、消耗品などを購入した場合は、収支報告を必ず行うようにする。

9 入退転部について

(1) 入部について

< 2, 3 年生 >

- 4月6日(木) 部活動入部願の配付(〆切 4月10日)
- 4月13日(木) 新入生歓迎会にて部活動発表
 - * 生徒会が撮影済み
- 4月20日(木) 部活動発足会
- 4月14日(金) は2,3年生保護者会があるため、部活なし

< 1 年生 >

- 4月12日(水) 部活動仮入部期間、放課後のみ活動
～19日(水) 下校17:00
- * 4月14日(金) は2,3年生保護者会があるため、部活なし
- 4月13日(木) 新入生歓迎会終了後、部活動入部願の配付
(〆切 4月19日)
- 4月20日(木) 部活動発足会

- ①GW中の1年生の活動は顧問の判断でやってもよい
- ②すべての活動日のうち最低1～2日は休みの日を取るなどの配慮をする。

(2) 転部及び退部について

- ① 本人，保護者，顧問，担任の四者の話し合いによって認める。
- ② 退部が決定した場合，退部願を顧問に提出する。
- ③ 学年がかわり，今まで所属していた部活から，あらたに他の部活に入部願を提出する場合も，上記の手順によって入部願を提出する。
- ④ 担任は退部及び転部をした生徒が出た場合，生徒名簿の訂正とともに部活動担当に報告をしてください。

1 0 活動規定について

(1) 部長会について

- ① 各部の部長を招集し，会長，副会長を定める。
- ② 下校違反やだらしのない活動などを生徒間で注意しあうことを目的とする。
- ③ 部長会は必要に応じて，部活動担当が適宜招集する。

(2) 合宿について

- ① 活動計画書を提出し，学校長の承認を得る
- ② 夏季合宿（2泊3日以内）校内あるいは社会施設を利用すること。

(3) 保護者会について

- ① 年間1回 4月21日（金）
- ② その他、各部の必要に応じて開いてよい。

(4) 服装などについて

- ① 部活動で使用，着用するものは部活動以外の校内生活では使用，着用しない。
- ② 部活動で着用する服装については，各部活動で定められたものを着用する。
※着用してよいもの
 - ① 体操服 ② ユニフォーム ③ 大会記念Tシャツ
 - ④ 白・黒・紺の無地でワンポイントのTシャツ
 - ⑤ 部活動でそろえたTシャツ(④のTシャツに準ずるデザイン)
- ③ 部活動で土日，長期休みに登校する場合，もしくは平日に部活動で再登校してくる場合の服装については，部活動で着用を許可された服装でもよい。
- ④ シューズケースなどの持参は認める。
- ⑤ 部活動の再登校時，土日休日の部活動での登下校時の防寒着は，各部活動でそろえたウィンドブレーカー等（Tシャツのルールに準ずる）か，学校で登下校時に許可されているスクールコート，Pコート，ダッフルコートを着用してよい。

(5) 活動予定表などについて

- ① 部活動保護者会で、「部活動の運営方針・年間計画」などを説明する年間計画には予め「休養日」を明記しておく。
【年間予定表における休養日の設定について】

- ・年間予定表に休養日を必ず記載する。
大会の予定が未確定であるなど、カレンダー形式の予定表が作りにくい場合は、
- ①月ごとに区切った枠を作る
- ②令和元年度の日程を参考に、大会・コンクール名を月単位で記入
- ③その月に、休養日を何日間程度設ける予定であるかを記入するようにする。

(例)

月	大会・コンクール等	土日祝日の休養日
9月	★柏市新人戦 ★競技連盟主催大会 ・9月24日(土)東葛飾招待試合	5日程度
年間		合計34日程度

- ・★→今年度の日程が未定な為、昨年の予定を元に記載しました。
- ・平日の休養日は、1日以上設けます。
- ・各大会に勝ち進んだ場合、休養日が減る可能性があります。

- ②月の活動予定は前月25日頃を目安に各家庭に配布する。
- ③公式大会などの日程が決まったら、部活動担当が集約し、一覧表を全職員に配布する。
- ④長期休暇の10日前には予定表を配布する。
- ⑤★職員室の出勤簿の隣に、「部活動活動月の予定表」ファイルがあります。各部活、そちらに閉じこんでください。また、もう1部コピーをしていただき、市教委提出用のクリアーファイルに入れてください。

部活動ガイドライン

年間で100日以上完全休養日を設定する。

1.1 3年生の部活動参加について

- (1) スポーツ推薦での受験や自己表現の部活動要件での受検をするなど、試験科目に実技を伴う生徒を対象とする。
 - (2) 活動期間は、始業式後～千葉公立入試前までの期間とする。該当部活動顧問と相談の上、平日・土日の部活動に参加する。
 - (3) 参加の流れ
 - ①担任より参加許可願配布
 - ②該当生徒が担任に相談 → 保護者に許可願を書いてもらう。
 - ③担任に提出する → 担任は学年職員・顧問に報告する。
- (全体へ周知)

1.2 その他

- (1) 放課後の部活動の際、荷物(カバン等)は活動場所へ持っていき、昇降口に置かないこと。
特別な事がない限り教室へは入らない。数年前、盗難のトラブルあり！！
- (2) 朝練習に関しては各自の教室へ荷物を持っていてもよいが、貴重品等がある場合は必ず顧問へ預ける。
- (3) 水筒は持ってきてても良い。中身についてはスポーツドリンク類かお茶、学校で許可されている物とする。
- (4) 休日の校舎の出入りは、基本的に生徒昇降口からとする。
(職員昇降口の出入りは原則的に禁止)
- (5) 顧問は生徒下校後、トイレ、活動場所及び昇降口など施錠や整理整頓の確認を必ず行うこと。
- (6) 給食のない日の部活動は原則として再登校とする。
- (7) 体育館の割り振りは体育館使用部活動の先生が中心となって調整してください。
- (8) 校外を走るとは原則的に禁止とする。(外周を走る必要がある場合には、学校長にその旨を伝え許可を得、自転車で併走するなどの危険回避策をとること。)
- (9) 放課後、活動終了後は顧問が服装、下校時間など責任を持って指導すること。
- (10) 大きな行事(入学式・卒業式)などの前日放課後と当日朝練習は原則として行わない。
- (11) 準備や片付けも含めて、活動時間です。生徒が早く登校しすぎることはないように各部活で指導をお願いします。再登校の時など気をつけてください。
- (12) 部活動連絡黒板を積極的に活用し、生徒が右往左往することがないようにお願いします。
※再三の注意にも関わらず、改善の見られない部活動については顧問会議等で検討し厳しく対処していきたい。

以上のことについては顧問・全職員が責任を持って部員に指導する。